

陸産、汽水・淡水産貝類

種名	ヒラコベソマイマイ (<i>Satsuma wiegmanni</i>)
指定をする理由	本県南国市稲生の石灰岩地の固有種であるが、本来、鉢伏山の石灰岩地露頭に多産していたものが石灰岩の採掘によって生息域が狭められ、現在、採掘を逃れた周縁部において、かろうじて種を維持しているものである。
形態	貝殻は黄味がかかった褐色で、殻表に鈍い光沢があり殻高約14mm、殻径約22mmの低平な円錐形をしており本属では特異な形態である。
生息分布状況	南国市稲生、石灰岩採掘跡周囲の狭い地域の灌木林、果樹園、民家の庭の落葉下やゴミ捨て場に生息している。個体数は近年激減しており生貝を見かける事が少なくなった。推定総個体数は100個体に満たないと考えている。
種の存続を脅かす要因	生息域が分断の上、生息適地の減少。個体数が少なく繁殖に支障。特異な形態のため採集圧がかかる。
保護に関する指針	本種の捕獲等については、県内全域において知事の許可を受けた場合以外は、当該種の捕獲等を禁止するものとする。
高知県レッドデータブック掲載状況	CR+EN(絶滅危惧 I 類)
高知県希少野生動植物保護基本方針該当項目	<ul style="list-style-type: none"> ・種の存続に支障をきたす程度の個体数の減少 ・生息地の環境が著しく悪化若しくは消滅しつつある種 ・県内において固有に生息している種



写真:多田 昭